

経営比較分析表（平成30年度決算）

佐賀県 玄海町

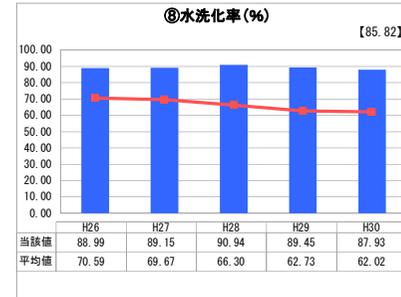
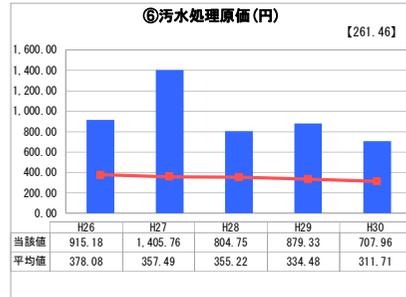
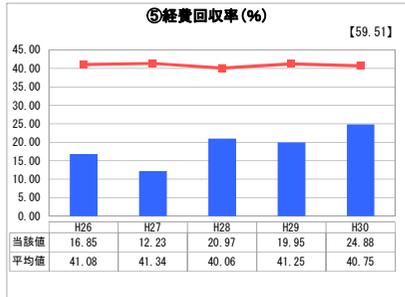
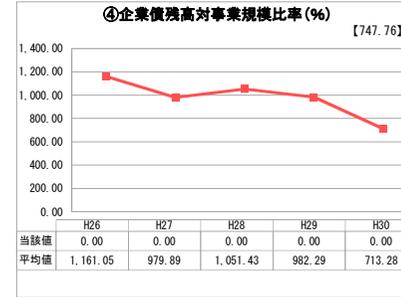
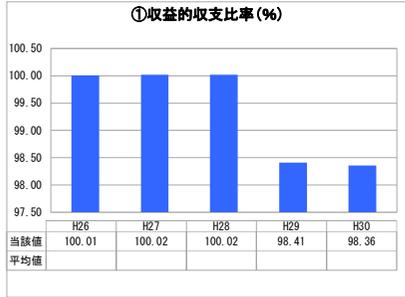
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F3 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 8.72 | 100.00 | 3,450 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 5,650 | 35.92 | 157.29 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 489 | 0.21 | 2,328.57 |

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率から分かるように、平均値40.75%に対し本町は24.88%と、平均値を大きく下回っており、使用料のみでは経営が全く成り立たない状況となっている。このため、施設併用開始から10年以上経過しているが、毎年一般会計繰入金に依存せざるを得ない現状である。

今後は、施設の老朽化に伴う負担増も想定されるため、企業会計移行後も、益々使用料だけの経営は困難を要していくと推測されるため、事業の在り方に注視していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

座川内浄化センターの併用開始が平成17年度、小加倉浄化センターの併用開始が平成18年度となっており、約15年経過している。

このため、近年修繕箇所が多く発生している状況である。

今後も増加すると想定されるため、計画的に整備していく。

全体総括

料金が入頭制であり計画区域内の管渠布設についても完了しており、今後、人口減少による使用料収入の減少が予想される。

そのため老朽化対策に伴う将来的な資産及び適正な施設規模など随時分析を行い、将来にわたって安定的なサービスの提供が行えるよう経営の健全化を図り、効率のかつ適正な事業運営を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。